

みんなだてき弁を楽こせー!

か
こ
へ
ん

活弁は、昔の無声映画に語りをつける日本独自の芸能です。かつて浅草は、日本一の映画興行街として栄え、多くの活弁の弁士たちは浅草でその話術を磨きました。老若男女問わずお楽しみいただけますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

「国定忠治」
「血煙り高田の馬場」
「野狐三次」
「チャップリンの短編作品」等

活弁演目..

令和6年 **3月31日(日)**
開場13:45 開演14:00 (終演予定15:45)
浅草文化観光センター6階
多目的スペース (台東区雷門2-18-9)

料金:無料

出演: やた **麻生八咫**、こやた **麻生子八咫**

活弁教室の有志たち

江口裕行 加藤金治 小西健司
澤田一治 鈴木恵子 前田昌彦
松原匠 宮永真幸 明珍亜依

※都合により出演者が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催:浅草活弁祭り実行委員会
後援:台東区

PROFILE

活弁士/麻生八咫 (あそうやた)

獨協大学卒業後、役者として一人芝居「日傘と剃刀」全国400回公演。活弁士・池俊行氏の活弁「坂本龍馬」との感動の出会いにより活弁士となる。1995年文化庁主催「ジャパン映画フェスティバル」(イタリア)公演。1998年活弁界初の文部大臣賞受賞。2005年より麻生八咫と子八咫の「活弁教室」主宰。毎年「浅草活弁祭り」「浅草オペラ」公演などを主催。大分県かぼす特命大使。埼玉坂本龍馬会名誉会長。著作『映画ライブそれが人生』(麻生八咫・子八咫共著)や、朗読CD『名人伝/山月記』発売中。 <https://katsuben.com>

活弁士/麻生子八咫 (あそうこやた)

父・麻生八咫の活弁を觀て育ち、10歳で浅草木馬亭よりデビュー。2003年第48回文部科学大臣杯全国青年弁論大会・文部科学大臣杯受賞。2008年高校の英語教科書『All Aboard II』(東京書籍)に“A Young Katsubenshi”として紹介される。2016年麻生八咫子八咫の記念切手発売。2020年3月東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。司会、英語活弁、講演会、脚本、演出、諸芸能等、さまざまな舞台活動を行う。日本弁論連盟理事。『月刊浅草』副編集長。埼玉県鴻巣市「こうのす観光大使」。

